

編 集 後 記

今年の夏は強烈な台風の連続パンチ、地震、火山噴火といった天変地異とともに全くあきれ果てるキリスト教対イスラム教という怨念の戦いの報道ばかりで気がめいていたが、オリンピック開催によって、少しは良い意味での国の威信をかけた戦いを見物できた点がよかった。今回の総説では“がん患者の悩み”という題で外科の土屋先生がアンケート結果をまとめられた報告がなされている。当院のように80%以上が癌患者の場合には避けて通れない分野であり、日常診療に大変参考となるデータであると考えられる。しかしながら、問題はこの結果を基にどのような対処をするかという点であり、臨床各分野において癌種に応じた対処方法を早急に開発し、臨床応用する努力が必要であろう。

また、院内集談会のテーマ1（リスクマネジメントの新たな展開）の抄録が掲載されているが、リスクの回避は“単純・明快・一貫性・反復可能”な医療行為体系を構築することであり、院内各分野の有機的な連携が達成されることを切に希望する。

(内科 張 高明)

医 誌 編 集 委 員 (50音順)

伊 藤 拓 緯	小 田 純 一	加 藤 俊 幸
北 村 康 男	竹之内 辰 也	張 高 明
梨 本 篤	難 波 克 彦	
事務局	有 田 由 美 子	

平成16年9月25日印刷

平成16年9月30日発行

県立がんセンター新潟病院医誌

第43巻第2号(通し94号)

〒951-8566 新潟市川岸町2丁目15番地3
編 集 県立がんセンター新潟病院
医誌編集委員会
電話025-266-5111番(代)
発 行 県立がんセンター新潟病院 田中乙雄

〒950-8724 新潟市和合町2丁目4番18号
第一和合ビル
印刷所 株式会社 第一印刷所
電話025-285-7161番(代)
